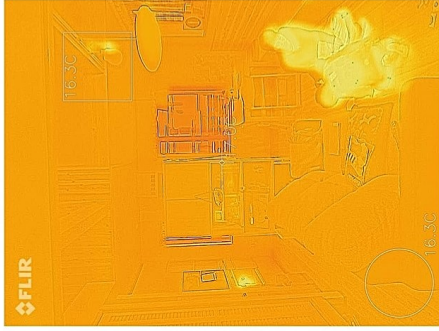


家族全員ひきこもり！？ 高性能エコハウスの秘密！

一般住宅



高性能エコハウス



上は暖かいが下は冷たい

上も下も暖かい

サーモカメラでの比較

高性能エコハウスとは、夏は涼しく、冬は暖かく「エアコン1台で年中どこでも快適に過ごせるお家」のことです。

休みの日には家族全員でゆっくり引きこもってしまおう魔力を持っています。

2枚の写真をご覧ください。

右の写真は、一見、何か分からないオレンジの画像ですが、これは高性能エコハウスをサーモカメラで撮ったものです。

一般の住宅だと左の写真のように、頭上ばかりが暖かくて、いつまでたっても足元が寒いままです。高性能エコハウスは、右の写真のように、頭上空間も足元も温度が変わらないため、上から下まで同じ色になるのです。また、快適だけでなく、地震・火災などから家を守り、ヒートショックが起これにくく、健康寿命を延伸します。

家を建て、住み始めてから、「あ、失敗したな」と後悔しないために、高性能エコハウスのことを知りましょう！

高性能エコハウスの秘密とは？

①高断熱・高气密

家を暖かくするために、「断熱」と「気密」は車の両輪と行っても良いほど重要です。

家の周囲を包み込む断熱層。その構成部位で一番大切なのが「窓」です。



断熱材は家の周囲を包むように

ガラスはもちろん、枠の素材の選定にも心を砕きます。窓で手を扱ってしまったら、良い結果を得ることはできません。

また、高性能エコハウスは通常の家に比べると、壁は2.3倍、屋根(天井)は3.5倍の断熱材を施工します。この断熱層は連続性も大事で、途切れがあるところから集中的に熱が逃げてしま



断熱で最も大事な窓と隙間なく敷き詰められた断熱材

気密層の連続性は断熱層よりも更に重要となります。高性能エコハウスは2層の気密層(シート層と合板層)を備えていますので、極めて高い気密性能を発揮します。

このような機械で気密性能を測定します。高性能エコハウスの実績平均はC=0.31となります。



気密測定器で性能を測っている様子

高性能エコハウスの秘密

②光熱費

高性能エコハウスは夏も冬もエアコン1台で全館冷暖房。

全館冷暖房は嬉しいけれど、光熱費が心配…。しかし、高性能エコハウスは全館冷暖房でありながら、光熱費が安くなりま

す！
下の表をご覧ください。この表は一般住宅と高性能エコハウスに住んでいる方の光熱費の比較になります。

なんとひと月あたり5700円〜7500円もの差があります。

建築費用は少しお高めですが、月々ローン返済額と光熱費の合計は一般住宅と変わりません。快適と健康が手に入ると考えると高性能エコハウスはむしろ安いと言えるかもしれません。

一般住宅 社団法人 築24年	高性能エコハウス		LDKとリビングのみ 冷暖房の範囲
	M様邸 築3年	A様邸 築2年	
年間	197,689円	128,778円	107,280円
月平均	16,474円	10,732円	8,938円
1㎡あたり月平均	161円	99円	104円

③憧れの吹き抜け・リビング階段

憧れの吹き抜けとリビング階段。日本の冬には合わないからと諦めていませんか？



高性能エコハウスはむしろ吹き抜け、リビング階段、大歓迎！家の中の空気を循環させてくれる大事な役目を果たしてくれます！

しっかりと断熱すれば、吹き抜け・リビング階段は寒くありません。

「家全体を暖かくするために必要」な存在なのです。